

完全学校週5日制



越河小学校6年生の皆さん

いよいよ今年四月から、毎週土曜日を休みとする完全学校週5日制が全国すべての学校で始まります。子どもたちの学校外での時間が増え、家庭や地域での教育の機会がこれまで以上に重要になります。学校の授業もゆとりの中で、子どもたち一人ひとりの「生きる力」を育てるために、教育の内容が変わります。

なぜ完全学校週5日制になるの？

完全学校週5日制は、子どもたちが豊かな体験によって豊かな心を育めるよう、家庭や地域でのさまざまな体験活動などの機会をもっと増やしていこうというものです。そして、学校、家庭、地域社会が互いに協力し、一人ひとりの子どもたちに「生きる力」を育むことをねらいとしています。

？ 新学習指導要領で学校はどう変わるの？

授業時間がこれまでより短縮されます。ゆとりの中で、基礎・基

本を確実に習得させるため、共通に学ぶ教育内容が厳選されます。

？ 「総合的な学習の時間」とは？

子どもたちが社会の変化に対応し、たくましく生きていくためには、教科などで学んだ知識を用いて自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考える力が必要です。そうした力を育むために、体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、「総合的な学習の時間」を新設しま

「生きる力」とは
主体的に判断し、問題を解決する力
他人を思いやり、感動で
きる豊かな人間性
たくましく生きるための
健康と体力

総合的な学習の時間では、各学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動が展開されます。

？ 学力の評価はどう変わるの？

子どもたちの学力を単なる知識の量のみでとらえるのではなく、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などを身につけているかどうかも含めて評価されることとなります。

？ 授業日数が減って、学力は低下しないの？

新しい学習指導要領では、学校で共通に学ぶ量は従来に比べて減りますが、子ども自身が選択して学習できる幅が拡大されており、子どもの特性などに応じた学習が活発に行われるようになります。

教育内容の厳選によって、子どもはゆとりの中で基礎・基本をしっかり学習し、学ぶ意欲や学び方、知的好奇心・探求心を身につけることができ、子どもの学力の質を向上させることにつながります。

？ 生活が不規則になったり、塾通いが増えませんか？

完全学校週5日制は、子どもたちが土・日曜日を利用して、家庭や地域社会の中で生活体験や自然体験、社会体験、文化・スポーツ活動など、さまざまな活動や経験をすることにより、望ましい人間形成を図るためのものです。

子どもたちが学ぶ場は、学校や塾だけではなく、家庭や地域、塾関係者なども学校週5日制の趣旨を理解し、子どもたちが豊かな体験ができるよう、地域の大人たちが協力して対応する必要があります。

地域の行事に参加しよう！

市内には、どの地域にも公民館があります。これまでも各公民館では、少年を対象とした体験学習（野外活動）や親子映画会、郷土学習教室、伝承創作教室などユニニティアリーダーや高齢者の協力をいただき、世代間交流・異年齢交流事業として開催してきました。

また、地域社会の行事として文化祭、運動会、お祭りなども開催し、地区によっては学校と合同の運動会を実施している所もあります。

なお、公民館の企画運営は公民館運営委員会が行っていますが、この委員会の構成は地域の主な社会教育



斎川地区敬老会で太鼓を披露する「斎川子供おはやし会」



地元の病院を慰問し、「団七踊り」を披露する大鷹沢小児童

団体の代表者です。このたび、市内の社会教育団体に対し「子ども対象の事業（活動）実施」の有無について照会をいたしました。現在のところ、五十六団体が「有」または「検討中」との回答でした。その主な活動内容は次のとおりです。

伝統芸能 ゲーム・レクリエーション 工作 キャンプなどで、ほかに手話や料理、生け花、ウォークラリーなどが挙げられましたが、各団体ではいろいろな活動を計画していますので、詳しくは中央公民館または各地区公民館にお問い合わせください。



（登別市スポーツ少年団との交流大会より）

【問い合わせ】
教育委員会社会教育課
☎22・1343